

訪問診療の道すがら 仏教寺(久米南町)と高城合戦(建部町和田南)

福渡病院 院長
堀内 武志

戦国武将として有名な宇喜多直家は、毛利氏方（竹内・杉山氏）との高城合戦に勝ち、久米郡を支配下に置きました。天正8年（1580年）のことで、この1年後に宇喜多直家は亡くなり、宇喜多秀家が後を継ぎ、岡山城主となり備前・美作・備中半国・播磨3郡を治めました。

高城合戦では、宇喜多氏方は蕨尾山城（建部町三明寺）に陣を置き、高城（建部町和田南）と鶴田城を攻めましたが、なかなか苦戦しています。最終的に、宇喜多直家自らが精兵を率いて久米南町の仏教寺に陣を置き、高城と鶴田城を攻め落としています。これにより、久米郡全域が宇喜多氏の支配下となりました。蕨尾山城は松端山（まつはたやま）本陣と言います。高城、鶴田城そして蕨尾山城も、城跡が残っています。和田神社の西には、高城主だった竹内善十郎為能のお墓がひっそりと佇んでいます。

（参考：「建部町史・通史編」）



病院の理念

◎地域住民を愛し、地域の歴史を愛し、地域を愛する病院

◎地域包括ケアシステムの拠点として、常に最良の医療を提供する病院

●福渡病院概要

救急告示病院、病床数 52 床（一般 32 床、地域包括 20 床）人工透析（17 床）、訪問看護ステーション併設

アルコール摂取についての考察

飲酒量の目安は、休肝日をつくることを前提に、1日あたりの純アルコール摂取量として男性は40グラム以下（ビール1,000ml）、女性は20グラム以下（ビール500ml）と考えます。ただし、アルコール分解力や忍容性には個人差があり、一概には言えないと思います。健康を壊し、周囲に迷惑となる飲酒は避けるべきです。

○「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン（令和6年2月 厚生労働省）より

- ・「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」は1日あたりの純アルコール摂取量で、男性は40グラム以上、女性は20グラム以上です。
- ・純アルコール20gとは、ビール・発泡酒では約500ml、日本酒で約180ml、焼酎では約100ml、ウイスキーやブランデー約60ml、ワイン約200ml、酎ハイ約350mlに換算されます。
- ・「脳卒中、胃がん、肝がん」のリスク増加は1週間当たりの飲酒量で考えます。
- ・男性の場合、脳卒中は1週間にビール500mlを15本以上（日本酒2,700ml、焼酎1,500ml、ウイスキー900ml）です。胃がんは、男性の場合は少しでも飲酒しているとリスクが上がります。肝がんは、ビール500mlを23本以上（日本酒4,140ml、焼酎2,300ml、ウイスキー1,380ml）です。
- ・女性の場合、脳卒中は1週間にビール500mlを4本以上（日本酒640ml、焼酎400ml、ウイスキー240ml）です。胃がんと肝がんは、1週間にビール500mlを8本以上（日本酒1,440ml、焼酎800ml、ウイスキー480ml）です。

○他にもあるアルコールの問題

他にもアルコール依存症、アルコールによる肝障害・肝硬変、アルコール性精神病、脳の萎縮と認知症などもアルコールによる健康問題です。また、アルコールは家族や社会にも影響があり、家庭内争議や家庭内暴力、離婚、家族分断、近隣とのもめ事、暴言、暴力、飲酒運転による交通事故といった不幸の原因になることがあります。後の本人にとって、大きな後悔となることも多いです。

アルコールに飲まれることなく、アルコール摂取が健康や家庭、社会にとってマイナスにならないよう、節制することが大切です。

医師紹介

内科 今尾武士（常勤）

専門 血液内科

〈プロフィール〉

岡山大学医学部医学科地域枠卒で卒後7年目の今尾武士と申します。

津山中央病院、金田病院、岡山赤十字病院と2年ずつ診療経験を積みました。内科・血液内科として診療を行っており、貧血など、血液細胞の異常を専門としております。

医療の専門分化が進んでいますが、超高齢化と地域性を考えると、一人の医師が広い範囲を包括的に診療することで、通院負担軽減や、薬の飲み合わせの問題を解決することが重要と考えております。

もちろん、専門性の高い疾患については適切な専門医へ紹介させていただきます。

微力ではございますが、旧建部町地区や久米南町の地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



薬局からのお知らせ

「ポリファーマシー」という言葉を聞いたことがありますか？

多くのくすりを服用しているために、副作用が起こったり、くすりが服用できなくなった状態のことをいいます。高齢になると複数の病気を持つ人が増え、くすりが増える原因になります。また、くすりを排泄する力も衰えてくるため、くすり同士が互いに影響し合うことが増えてきます。6種類以上の薬を服用していると副作用が起こりやすくなるという報告もあります。

そういった背景があり、国もポリファーマシーを解消する取り組みを勧めています。その中で薬剤師には処方適正化支援や服薬支援などが求められています。ただ、当薬局では課題が多く、取り組めていないのが現状です。

ポリファーマシーを防ぐために患者さんができることとして、①おくすり手帳は一冊にまとめること、②くすりが増え変わったときに体調の変化がないか注意することが挙げられます。

気になる症状があるときは医師・薬剤師へご相談ください。



【眼科外来で研修を行いました】



2025年2月21日、津山中央病院の新免上嗣視能訓練士をお招きし、視力検査等に関する院内研修を実施しました。研修では、視力検査の基本手技や注意点、適切な眼鏡処方の方法等について、講義と実技指導を行っていただきました。眼科スタッフ一同、視力検査及び眼鏡処方に関する理解を深めることができ、大変有意義な機会となりました。私自身も、視能訓練士の視点から学ぶことができ、今後の外来診療に活かしていきたいと思います。

今後も継続的に知識、技術の向上を図り、より質の高い眼科診療を提供できるよう努めてまいります。

眼科 塩出雄亮

多肉植物の寄せ植えの時期になったら仲良しグループで集まり、お茶をしながら寄せ植えを楽しんでいます。

植え替え時期 春(3月～5月)
秋(9月～10月)頃

水やり 土がしっかり乾いてからたっぷり
水やりをする
夏は夕方に、冬は朝(あたたかくなってから)

置き場所 日当たりがよく風通しの良い場所
夏は直射日光を避ける
冬は5℃以下にならない場所





岡山市久米南町組合立国民健康保険

福渡病院

外来診療予定表

(令和7年4月現在)

〒709-3111 岡山市北区建部町福渡1000番地

岡山市久米南町国民健康保険病院組合

電話 086-722-0525 (代表) FAX 086-722-0038

【受付時間】 午前8:30~11:30 午後1:30~4:00

(内科:水・金曜日の午後の受付は午後1:30~5:00)

【診療時間】 午前9:00~ 午後2:00~

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前のみ
内科	1診 今尾	堀内	1診 岩崎	岩崎	1診 今尾	担当医 (済生会)	1診 担当医 (岡山市民)	菊池	1診 瀧上	担当医 (岡山市民)	1診 今尾 (第1・5) 堀内 (第3)
	2診 永野	永野	2診 浜原	森分	2診 堀内		2診 堀内	今尾	2診 堀内		
整形外科		予約 川田		担当医 (岡山市民)		予約 三谷 (偶数月第4)		予約 山田			担当医 (岡山大学) (第1・3・5)
眼科			尾内 (15:00まで)						塩出 (検査) (15:00まで)		
循環器科					時岡 (第1・3)						時岡 (第1)
心療科											予約 竹之下 (第3)
泌尿器科											予約 担当医 (岡山市民) (第1・3・5)
皮膚科			予約 河野								

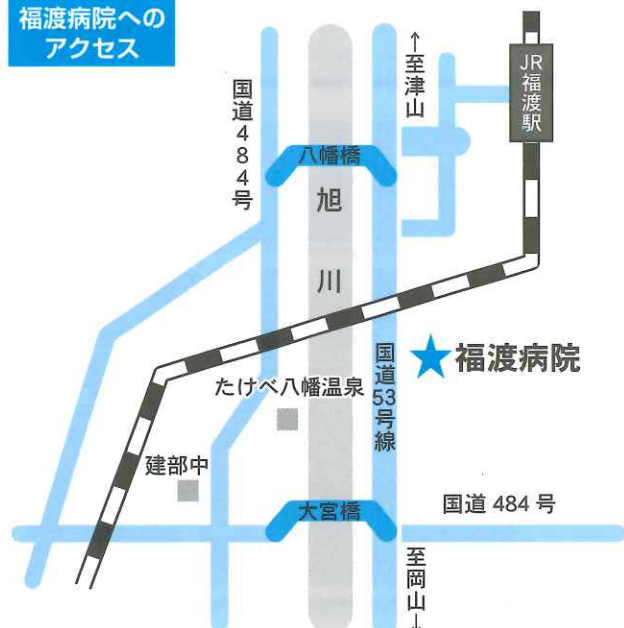
※第1・3・5土曜日は外来診療を行っています。

※急患の方はこの限りではありません。

※医師の都合で診療日が変更になる場合があります。

内科専門分野 堀内(呼吸器) 今尾・永野(血液) 菊池・森分(消化器)
岩崎(肝臓) 浜原(糖尿病) 瀧上(腎臓)

福渡病院への アクセス



職員募集

医師・看護師を募集しています。

採用区分、勤務条件、選考方法、応募方法等
については、電話でお問い合わせください。JR津山線
「福渡駅」下車徒歩10分車の方
岡山市・津山市中心市街地から約50分御津・建部コミュニティバス
「福渡病院」または「旭水荘前」下車

令和7年 4月発行

編集・発行責任者 美化・環境改善・広報委員会

TEL 086-722-0525 FAX 086-722-0038

ホームページ <http://www.fukuwatari-hp.jp/>

メールアドレス fukuhos6@po10.oninet.ne.jp